【学校教育目標】「人間性豊かな心をもち 実践力のある生徒の育成」 - 気付き、生かす -



着松中だより

千葉市立若松中学校 校報 第 44 号 令和 2年12月18日

2年校外学習を終えて①

校長古市直彦

新型コロナウイルス感染症の第3波が心配される中でしたが、2年生の校外学習を実施しました。 2年生最大の行事とも言える自然教室や職場体験が実施できない中、その代替としてどのようなこと が実施できるか、検討を重ねた上での実施でした。

「イオンモール幕張新都心」のホームページ上には、従業員に陽性者がでていることは発表されておりましたが、生徒が体験をする施設「Kandu(カンドゥー)」の従業員ではないことは確認しておりました。また、当日は、施設側の感染症対策が十分であることを随時確認しながら学習を進めさせました。

子どもたちはというと、それは楽しそうに様々なお仕事(職業)を体験していました。感想等子どもたちの声は後日あらためて紹介させていただきたいと思っていますが、とりあえず活動の様子をお知らせします。



校外学習の日の夕方、ある保護者の方から次のようなメッセージをいただくことができました。 「帰宅した息子の笑顔を見てこみ上げるものがありました。宿泊行事が叶わなかったので、校外学習 は行かせてあげたい、と多数の保護者同様強く思っていました。コロナ禍でも校外学習を実施できる よう、ハンドジェルの配布、活動中や食事中の感染予防の配慮など万全な対策を講じてくださり、先 生方のご尽力のおかげで子ども達にかけがえのない経験や思い出ができました。体育祭、合唱コン、 部活なども実施してくださり、多数の保護者共々感謝の気持ちしかありません。」 正直なところ、12月は例年ただでさえ多忙な時期なのですが、この校外学習に向け、学年職員は毎日かなり遅い時間までかけて準備を進めて参りました。「もっと効率的に子どもたちの活動を進めさせてあげることができたのでは…」等の反省もありますが、当日の子どもたちの楽しそうな笑顔を見て、そして、このようなメッセージをいただくことができて本当にうれしく感じています。この校外学習をうまく振り返りをさせることで、子どもたちの今後の学校生活に生かしていきたいと思っています。ありがとうございました。

通学時等の服装について

校 長 古 市 直 彦 牛徒指導主任

過日お知らせしましたように、現在本校では、新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、また、保護者の皆様のご要望を受け、通学時の服装は、制服でも体操服・ジャージでも、どちらでも良いことにしています。防寒着として、ウインドブレーカーを着用することも構いません。これからの季節は朝夕の冷え込みも予想されますので、手袋やマフラーも適宜、使用するようにしてください。冷たくなった手をポケットに入れたままの歩行は危険です。また、マフラーに関しても、背中に垂らすようにして着用したため、通りかがりの不審者にマフラーを引っ張られて首もとをケガしてしまったという事例が、以前、市内の中学校から報告されていました。安全な着用のしかたにもご配慮いただけたらと思います。

また、この時期、部活動終了後の下校時は、どうしても暗くなってしまいます。スクールバッグには他の生徒との識別のためにキーホルダーを1つ付けることを認めておりますが、反射材を使っている物や、反射効果の高いキーホルダーにする事をお勧めします。

靴下に関しましても、昨年度に保護者の皆様からいただいたご意見をもとに検討を続けておりました。「普段から、きちんとして見える服装を心がけたい(=靴下は白が良い)」と思っている生徒が多く、生徒総会等でも靴下の色についての意見はなかったのですが、保護者の方の洗濯の負担軽減という視点から、新年1月より「男女とも、白・黒・紺の無地(ワンポイントは可)のもの」と変更いたします。ケガ防止のため、「くるぶしソックスは着用しない」という

点は変更ありません。

自分で判断し(=気付き)自分で行動できる(=生かせる)というのは、他校にない本校生徒の素晴らしい点だと感じています。今後も、時間や場面に応じた臨機応変な服装をする事に関しては、生徒の皆さんを信頼し、判断をゆだねてみたいと思っています。



3年推薦希望者面接(12月4日~11日)

3年生の単願推薦・併願推薦希望者を対象に面接を実施しました。 志願理由の確認と本番に向けた面接の練習が主な目的です。今年の 3年生は面接時の対応が上手だった生徒が多かったように思います。 各クラスで練習を重ねた成果でしょう。



1.2年三者面接 (12月7日~11日)

夏休み以降の学校での様子やご家庭での様子等に関する情報交換を行いました。冬休みや新年に向けた新しい目標を設定することもできたようです。

